

令和5年5月21日

林昌寺ツツジと

五つの街道

参加者 41名 距離 6km 難易度○

5月14日予定でしたが、雨のため順延となり、当日はお天気も良く、夏を思わせる日差しと気温上昇で熱中症の心配が必要な季節になったことを実感しました。

まずは、ツツジかサツキで問題になりはつきりさせるため、調べました。今回咲いていたのは、サツキです。1週間伸びたのにちょうど見頃で、いたるところに咲いていました。

ツツジは、赤、ピンク、白、紫、オレンジなど、様々な色があり、サツキは赤とピンクが主流。

ツツジとサツキの見分け方

南海樽井駅

点呼・体操



専徳寺



見分け方
ツツジとサツキの



ツツジ



サツキ

花の大きさ	約6cm	約4cm
おしべの数	5本以上	5本
咲き方	一斉に咲く	パラパラと咲く
葉の大きさ	約4~5cm	約2~2.5cm
葉の表面	柔らかい毛がある	つやつやして光沢がある

WJウェザーニュース



てんすいます
石造りの『天水榊』が有名で、江戸末期の名工「奈良利」の傑作で、四つの角を力士が支える造りで計八体の力士像のポーズも表情も異なる。

お寺は1494年創建、1577年信長の紀州攻めで全焼。



五つの街道

浜街道（孝子越え街道）

江戸時代、大阪と和歌山をつなぐ紀州街道のうち、鶴原で分岐し、海岸沿いに進むルート。

根来街道

樽井根来街道起点から風吹峠を超え根来寺を横に大和街道（国道 24 号線）合流まで全長約 17Km の道。

大師道

樽井から弘法大師の像がある林昌寺まで、野中を行く道。昔は弘法大師の道として親しまれた。

信長街道

信達市場から男里を通り、鳥取荘にいたる、全長約 5.6Km の道。織田信長の雑賀攻めの折、この街道を通ったことに由来。

熊野街道（紀州街道）

大阪と和歌山を結ぶ幹線道路として、古来から往来があった道。中世には、熊野三山への巡礼の道。江戸時代には参勤交代の道。その宿場町が信達宿。

千体地蔵

二百体近いお地蔵様が並び、最古の一石五輪塔は、1590 年のものとある。信長が攻めた時に戦死した子供たちの霊を弔うためとも言われている。





林昌寺

つっじさん
 行基開山と伝わる真言宗の古刹。山号は、「躑躅山」といい、平安後期、
 堀河天皇が行幸のおり、山躑躅が見事であったことから改名された。





しげりみれい
 昭和 36 年重森三玲が造った
 「法林の庭」。京都の東福寺
 の本坊庭園・岸和田城の八陣
 の庭も有名。^{ふだらくとかいひ}補陀落渡海碑や
^{ぶっそくせき}仏足石もあった。

仏足石
 右側が古く中世につく
 られたもの、左側はや
 やのちにつくられた。



信達神社御旅所跡



JR 和泉砂川駅

ゴール



今日は、初めての参加者が4名ありました。今回も一海さんの説明で皆さん一生懸命勉強されました。街道をいっぱい歩き、泉州の古い時代の人を感じました。林昌寺では、29期山中さんも合流され、紫陽花も少し見る事ができました。